

教育センター通信

第11号(通算116号)

令和6年3月19日

三条市教育委員会

教育センター発行

ほ
ど
火床の火の心を紡ぐ

小中一貫教育

トップページ



3月12日(火) したただの郷学園 乗り入れ授業
AM: 長沢小・笹岡小・大浦小の3校合同授業(英語)
【PM: 飯田小・森町小の2校合同授業(英語)】

1年間の感謝と振り返り ～人間の成長と竹の成長～

教育センター 指導主事 高橋 将也

令和5年度の教育課程を間もなく終えようとしています。三条市立学校教職員の皆様におかれましては、小中一貫教育の更なる充実を図りながら、『ふるさと三条』を愛し、誇りに思う子ども」の育成に御尽力いただきました。多様な教育的ニーズの高まりに誠実に対応され、忙しく過ごされる日々の中、その時々を振り返ることはなかなか難しいものです。しかし、皆様の教育に対する思いや一日一日の積み重ねは、児童生徒の成長を支え、明日への活力につながっていることと思います。

さて、年度末に当たり「成長」について考えさせられた書籍から、次の文章を引用します。

竹の種子が地上から芽を出すには長い年月が必要になる。最初の4年間、目に見える成長はない。しかし5年目でようやく地上から芽を出すと、わずか6週間で30メートルくらいにまで伸びる。専門家によると、竹は最初の4年間で地下茎を張りめぐらせ、それを土台にしてわずか6週間で高さ約30メートルの頑丈な竹が成長するという。ではここで質問しよう。竹が30メートル伸びるのに要した時間は4年だろうか6週間だろうか。人間の成長も竹の成長と似ている。

アレクサンダー・ロックハート著、弓場隆訳『自分を磨く方法』から引用

私自身、教師として自分では頑張っているつもりでも結果に表れない、その不甲斐なさに悩み、葛藤した際に出会った1冊です。「学校にはたくさんの教職員がいる、教育はチームで行うのだから、焦らなくていい」と教えられた気がして、未熟な自分を肯定しようと思えるようになりました。だからこそ、チームの支えに感謝し、自らを高め、磨き続ける教師でありたいと感じたものです。

「竹」は児童生徒の比喩として紹介したのですが、教師も同様と考えます。将来の予測が困難な状況を示すVUCAの時代、生成AIの到来等、日々社会が変化、加速している中、私たちも新たなことに挑戦し、児童生徒とともに学びながら、「竹」が大きく伸びるように、教師として大きく成長してまいりましょう。

令和5年度三条市教育センター研修の振り返り

令和5年度「教職員研修・講座」の振り返り

研修・講座名	講座数	受講者数	肯定的評価	備考
I 基礎研修				
小中一貫教育基礎研修	1	129		
II 実践研修				
1 小中一貫教育を通して学力を向上させる研修				
授業スタンダード理解研修	1	86	98.9	オンデマンドで各自研修
算数・数学指導力向上研修(重点教科研修)	2	53	100	98.1
外国語指導力向上研修(重点教科研修)	2	29	100	100
教科指導研修(国語)	1	10	100	
全国学力・学習状況調査分析研修	1	—		各校内研修として実施
学習指導要領理解研修	1	25	100	
2 小中一貫教育を通して人間関係を豊かにする研修				
生徒指導研修・適応指導事業説明会	1	29		
不登校児童生徒への対応力向上研修	2	43	96	100
道徳科授業研修	1	28	84	
Q-U研修	2	34	83.3	93.8
3 小中一貫教育の視点を生かした各種教育研修				
ICT教育研修(プログラミング教育研修、事例研修)	2	33	100	95.5
環境教育研修	1	6	100	
防災教育研修(講演、授業研修)	2	124	100	97.5
特別な教育課程に基づく授業づくり研修	2	17	100	100
インクルーシブ教育システム研修	1	19	100	
特別な配慮に基づく児童生徒の支援研修	1	10	100	
関係機関との連携研修	1	5	100	
学習活動に困難のある子どものアセスメントと支援研修	1	18	100	
III 充実発展研修				
マネジメント研修	1	25	100	
コミュニティ・スクール研修	1	35		肯定評価100%の講座数
全体	28	758	96.8%	16 / 28

教育センター研修へ御参加いただきありがとうございます。ありがとうございました。

「I 基礎研修」、「II 実践研修」、「III 充実発展研修」については、延べ758名の方々から参加いただき、研修全体の肯定的評価は96.8%でした。

この他に「IV 授業力向上研修(Step1・2研修)」で45名、「V 刃物・ものづくり教育推進事業」で、延べ81名、「科学教育センター研修」で延べ151名から参加いただきました。

(詳細別途報告)

アンケートでいただいた御意見を参考に、次年度研修の充実を図っていきます。

オーダーメイド訪問回数(3月15日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問回数	0	0	7	3	4	12	16	11	4	0	0	0	57

小中一貫教育カリキュラムの紹介

「算数・数学」と「外国語」の「小中一貫教育カリキュラム」は、9年間の学びの連続を見据え、教育活動の質の一層の向上を目的に作成いただいています。今後もそれぞれの学園で実施された特色ある教育活動について加筆され、カリキュラムの自学園化を進めていただきますよう、お願いいたします。

次のカリキュラムは、1月末に御提出いただいた「算数・数学」「外国語」のカリキュラムの中から1部を抜粋したものになります。参考になさってください。

Unit 2 How are you? ごきげんいかが?	Unit 2 Let's play cards. 好きな遊びをつたえよう。 鬼ごっこやドッジボールなど自分が好きな遊びについて伝えよう。	Unit 1 My birthday is May 10th. 行事・誕生日
Unit 3 How many? 数えてあそぼう	Unit 3 I like Mondays. 好きな曜日は何かな?	Unit 2 I study math on Monday. 学校生活・教科
Unit 4 I like blue. 好きなものをつたえよう。 自分が好きな食べ物や色などについて発表する。	Unit 4 What time is it? 今、何時?	Unit 3 I sometimes walk the dog. 1日の生活
Unit 5 What do you like? 何が好き?	Unit 5 Do you have a pen? おすすめの文具セットをつくろう	Unit 4 She can sing well. できること

しただの郷学園(外国語): 学びの系統性を図示

平均(78時間)	ならべ方と組み合わせ方(7時間)
・自分たちが作ったコマの値段を決める際、市場調査を行う。市場のコマの値段の平均を出し、自分たちのコマの値段を決める上での参考とする。	・バスケットボールのチームのメンバーや、対戦チームの組み合わせがどれだけあるのかを調べる。

さかえ学園(算数・数学): 学園独自の課題

(3)乗法・除法(10時間)

【6年生データの活用と関連】

基準を決めて平均値を求める際に、負の数を利用して計算することで、より効率的に平均値を求めることができることを考えさせる。

(3)1次関数の利用(4時間)

【家庭科 衣食住と関連】

・電気代の料金を関数で表す際、基本料金が切片、利用額が傾きであることに着目し、1次関数として考えることができる。

大崎学園(算数・数学): 他学年・他教科との関わり

令和5年度授業力向上実践研修 Step1・2を振り返って

三条市教育センター主催の研修講座「令和5年度授業力向上実践研修」では、Step1研修（教職経験年数2年目から5年目の教員対象）を38人が、Step2研修（7年目から10年目の教員対象）を7人が受講し、1年間という長期に渡る研修に真摯に取り組み、無事修了することができました。

受講者は、5月のガイダンス（紙面研修）を皮切りに、オンライン学習会を3回（6月、8月、11月）、研究授業公開と個別検討会を行った後、約4か月間をかけて実践・研究の成果を実践記録及び教育研究論文にまとめました。また、市のオーダーメイド訪問を活用して多くの参観者から授業を観てもらった受講者や、プレ参観を行い担当指導主事と何度も検討を重ねた受講者もいました。一人一人の取組方法は異なりますが、「子どもたちの力を伸ばしたい」「自己の授業力を高めたい」という受講者の願いや努力が表れた研修となりました。



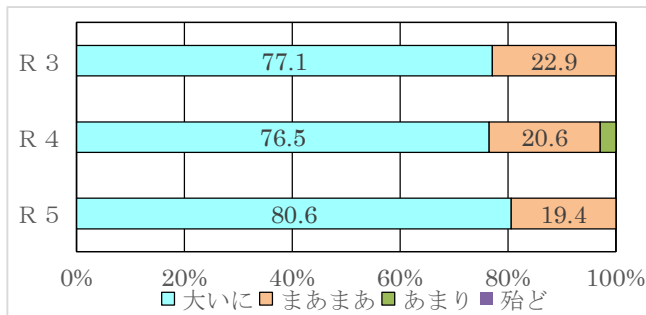
オンライン学習会(8/22)

受講者の研修の成果である「授業づくり実践記録集」(Step1)と「教育研究論文集」(Step2)は、令和2年度から校務用全校共有フォルダの教育センターフォルダに、PDF版で格納されています。今年度分も間もなく格納しますので、ぜひ御覧ください。

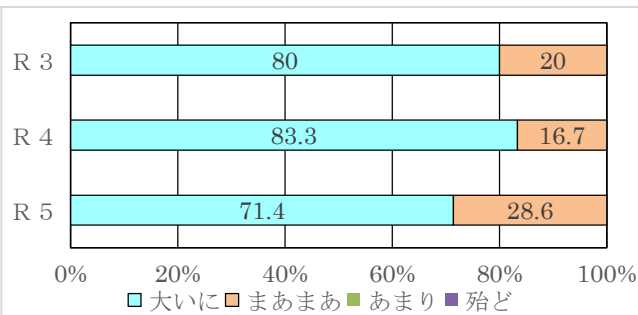
2月に行った受講者アンケート結果の一部を以下に御紹介します。日々の業務を進めながらの研修は、時に苦しいこともあったかと思えます。しかし、受講者自身の努力と、支えてくださった各学校の皆様のおかげで、充実した研修にすることができました。受講者の皆様の頑張りに拍手を送ります。そして、各学校で受講者を支えてくださった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

<受講者アンケート結果から>

【項目1】 あなたは、この研修に参加して、自己の授業力向上に役立ったと思いますか。



【Step1受講者（教職2～5年目：回答数38）】



【Step2受講者（教職7～10年目：回答数7）】

【受講者のコメント（一部抜粋）】

Step1受講者	Step2受講者
計画・研修・実践・振り返りを、約十か月もの時間をかけてじっくり行うことができたのがよかった。	論文を視野に入れて実践を行うことで、子どもたちに付けさせたい力、学びをより意識し、年間の単元構成を考えられるようになってきた。
自分が目指す理想の授業と、引き出したい子どもの姿が、よりクリアになった。授業づくりの楽しさに気付くことができ、大きな自信となった。	昨年度からの実践を振り返る機会になると同時に、資料や授業案のストックを充実させることができた。
教科の指導内容だけでなく、学級の課題だったり担任としての悩みだったりなども相談させていただき、親身になって御指導いただいた。	担当指導主事からは何度もアドバイスを頂き、文章や自分の考えを深く練り直し推敲することができた。

来年度も「授業力向上実践研修」を実施します。対象の経験年数の教員の皆様からの積極的な受講申込みをお願いします。

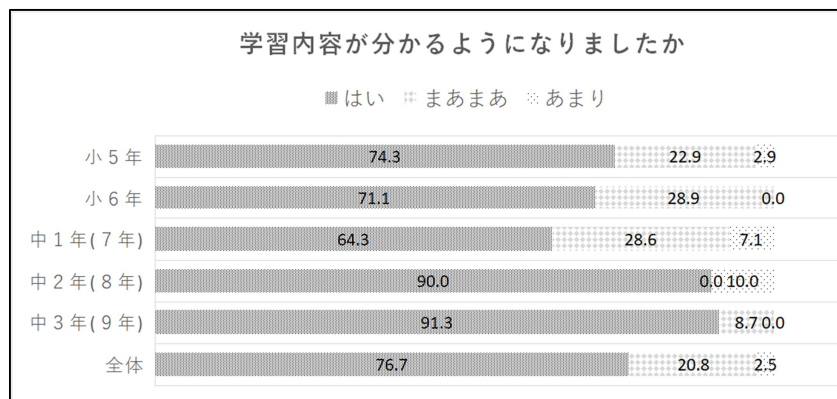
さんじょう学びのマルシェ

「さんじょう学びのマルシェ」は、今年で10年がたちました。今年度も、「もっと学びたい」と考える子どもたちが、土曜日の午前中に市内6つの会場で自主的に学習に取り組みました。

「さんじょう学びのマルシェ」では、「日頃の学習を個別に学び直す教室」、「発展的な内容の学習を行う教室」の2つの教室を開設し、教員OBをはじめとした指導員（市民ボランティア）が、受講者一人一人に寄り添いながら支援を行っています。

受講生や保護者の皆さんからは、「参加して、学習内容が分かるようになった（小5）」「自分から家でも学習する習慣ができた（小6）」「基本的な問題から応用問題まで、分かりやすく教えてもらえるので、勉強することが苦ではなくなった（中3）」「また来年も参加させたい。土曜日のこの1時間が、本当にメリットしかない（小5保護者）」「難しい問題に挑戦しても、解けない問題があっても、分かりやすく説明してくれるとのことで、本人も行くのを楽しみにしている（小5保護者）」等の喜びの声が多く聞かれました。

受講者を対象に実施したアンケート「以前よりも学習内容が分かるようになりましたか。」という項目では、肯定的評価が全体で97.5%と大変高い数値となっており、受講者の充実度がうかがえます。



今後も、受講生一人一人が学習に対して意欲と自信をもち、「勉強は楽しい」「できた、分かった」という姿が増えるように指導を進めて参ります。

今年度は昨年度より受講生が少なめでした。新年度から、図書館等複合施設「まちやま」会場を新設し、より多くの受講生が参加できるようにしていく予定です。新年度の御案内の際には、ぜひ子どもたちに一声かけて案内文書を配布して下さるようお願いいたします。

